

バングラデシュ

2020年12月16日

海外調査部・ダッカ事務所

2018/19年度のバングラデシュ経済は、衣料品輸出の伸長や堅調な内需に支えられ、過去最高となる8.2%の実質GDP成長率を記録した。貿易総額は堅調に伸びており、依然として貿易赤字ではあるものの、輸出は前年度比10.6%増となった。2019年の対内直接投資は、前年比20.5%減少した。2020年に入ると新型コロナウイルスの影響で経済は停滞したものの、2019/20年度は5.2%の経済成長率を維持した。バングラデシュ政府は2020/21年度も8.2%成長を目標に掲げ、さらなる経済成長の加速を目指す。

■初の8%台の経済成長を達成

バングラデシュの2018/19年度（2018年7月～2019年6月）の実質GDP成長率は8.2%となり、過去最高だった前年度の7.9%を更新し、初の8%台となった。GDPの6割を超える民間消費が3.9%増で前年度の11.0%増から減速したものの、インフラ需要を背景とした民間投資と政府投資が成長率を下支えた。また、輸出額のおよそ8割を占める衣料品輸出の増加により、財・サービスの輸出は10.9%増と伸長した。

2019/20年度は新型コロナ対策のロックダウンによる経済停滞の影響を受けつつも、GDP成長率（暫定値）は5.2%となった。政府は、2020/21年度は2018/19年度と同様の8.2%成長を目標に据えている。

■貿易収支の赤字幅が減少

2018/19年度の貿易（通関ベース）は、輸出が前年度比10.6%増の405億3,500万ドル、輸入は5.9%増の560億6,100万ドルと、3年度ぶりに輸出の伸びが輸入を上回った。カタールからのLNG輸入の開始などから拡大基調にあった貿易赤字は、輸出の伸び率が輸入のそれを上回ったことから赤字幅は縮小した。特に、主力輸出品の衣料品が好調に増加したことと、穀物輸入が大幅に減少したことが寄与した。

輸出では、農産品が前年度比35.1%増加し、次に主力産業の衣料品が11.5%増と好調であった。これまで約8割を欧米に依存していた衣料品輸出について、政府はその他市場の開拓を目指し、米国、カナダ、EUなどの主要輸出先を除く新興地域への輸出などに対して補助をする優遇措置（キャッシュ・インセンティブ）を講じた結果、主要相手国を含め輸出増となった。政府が2018年9月、輸出増を目指し、輸出時の源泉税を引き下げたことも、輸出増に寄与した可能性がある。特に対日輸出額は、衣料品を中心に20.7%増と高い伸びを示した。

輸入は、好調な経済成長やインフラ需要を背景に、鉱物性燃料・同製品が41.3%の大幅増となったほか、鉄鋼製品が19.0%増、プラスチック・同製品が10.5%増となった。一方、穀物は51.9%減となっ

表1 バングラデシュの主要品目別輸出入〈通関ベース〉

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2017/18年度		2018/19年度		2017/18年度		2018/19年度		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
衣料品	30,615	34,133	84.2	11.5	鉱物性燃料・同製品	4,988	7,051	12.6	41.3
布帛	15,426	17,245	42.5	11.8	綿・同製品	6,671	6,905	12.3	3.5
ニット	15,189	16,889	41.7	11.2	機械・同部品	5,850	6,186	11.0	5.7
皮革および同製品	1,086	1,020	2.5	△6.1	電気機器・同部品	2,871	3,013	5.4	5.0
農産品	671	906	2.2	35.1	鉄鋼製品	2,410	2,867	5.1	19.0
ジュートおよび同製品	1,043	836	2.1	△19.8	プラスチック・同製品	1,881	2,078	3.7	10.5
魚介類	508	500	1.2	△1.6	穀物	3,232	1,555	2.8	△51.9
合計 (その他含む)	36,668	40,535	100.0	10.6	合計 (その他含む)	52,940	56,061	100.0	5.9

〔出所〕 輸出振興庁およびバングラデシュ中央銀行

表2 バングラデシュの主要国・地域別輸出入〈通関ベース〉

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2017/18年度		2018/19年度		2017/18年度		2018/19年度		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
米国	5,983	6,876	17.0	14.9	中国	11,706	13,639	24.3	16.5
ドイツ	5,891	6,173	15.2	4.8	インド	8,622	7,648	13.6	△11.3
英国	3,989	4,169	10.3	4.5	シンガポール	2,698	3,106	5.5	15.1
スペイン	2,458	2,555	6.3	3.9	インドネシア	1,773	1,940	3.5	9.4
フランス	2,005	2,218	5.5	10.6	日本	1,870	1,846	3.3	△1.3
イタリア	1,560	1,643	4.1	5.3	米国	1,705	1,777	3.2	4.2
日本	1,132	1,366	3.4	20.7	マレーシア	1,410	1,496	2.7	6.1
カナダ	1,119	1,340	3.3	19.8	ブラジル	1,442	1,402	2.5	△2.8
合計 (その他含む)	36,668	40,535	100.0	10.6	合計 (その他含む)	52,940	56,061	100.0	5.9

〔出所〕 輸出振興庁およびバングラデシュ中央銀行

た。天候が良好で、国内生産が安定していたことが、輸入減の背景として考えられる。また、政府が主要農産物であるコメの国内生産増を推進し、農家が生産効率化に取り組んだ結果、生産量が国内需要を賄うことができ、輸入需要が減退した。

■対内直接投資は食品、縫製が大きく減少

2019年のバングラデシュの対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比20.5%減の28億7,400万ドルとなった。国別では、首位の中国からの投資額が39.2%減と落ち込んだ。業種別にみると、食品分野（65.9%減）に加え、縫製分野が40.2%減と大きく減少した。

表3 バングラデシュの国・地域別、業種別の対内直接投資〈国際収支ベース、ネット、フロー〉

(単位：100万ドル、%)

国・地域	対内直接投資				業種	対内直接投資			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
中国	1,030	626	21.8	△39.2	電力	1,012	942	32.8	△7.0
英国	371	416	14.5	12.3	銀行	283	335	11.7	18.7
シンガポール	171	272	9.5	59.0	食品	730	249	8.7	△65.9
米国	174	198	6.9	13.4	縫製	408	244	8.5	△40.2
オランダ	692	192	6.7	△72.3	通信	220	208	7.3	△5.2
香港	170	145	5.1	△14.4	石油・ガス	111	120	4.2	8.3
インド	121	116	4.0	△4.5	貿易	102	102	3.5	△0.2
日本	58	72	2.5	23.9	合計(その他含む)	3,613	2,874	100.0	△20.5
合計(その他含む)	3,613	2,874	100.0	△20.5					

〔出所〕 バングラデシュ中央銀行

日本からの直接投資は23.9%増の7,200万ドルを記録した。コロナ禍に入るまでは、従来の円借款によるインフラプロジェクトへの参画のほか、ITの現地英語人材の活用や、堅調な内需を狙ったビジネスに関心を有する企業がみられた。加えて、右肩上がりの経済成長に伴い、肥料生産や発電事業関連の投資に関わる動きもみられた。

■日本への衣料品輸出は増加

2018/19年度の対日輸出額は前年度比20.7%増の13億6,600万ドルと好調だった。対日輸出総額の8割を占める衣料品が28.9%増の10億9,100万ドルと好調だったことが、大きな要因といえる。その背景として、中国の生産コストが増加する中、バングラデシュが低価格な日本向け衣料品生産の代替地として注目されたこと、また、現地治安状況が比較的安定していることにより、生産発注の動きが活発化したとみられる。皮革製品の輸出も16.8%増と好調であった一方、履物・同部品は30.4%減と落ち込んだ。対日輸入については、機械・同部品、鉄鋼製品などの主要品目が減少し、1.3%減の18億4,600万ドルとなった。

表4 バングラデシュの対日主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2017/18年度	2018/19年度			2017/18年度	2018/19年度			
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
衣料品	846	1,091	79.9	28.9	船舶	319	587	31.8	84.1
ニット	445	604	44.2	35.7	機械・同部品	473	342	18.5	△27.8
布帛	402	488	35.7	21.3	鉄鋼製品	425	325	17.6	△23.5
皮革製品	46	53	3.9	16.8	輸送機器・同部品	398	312	16.9	△21.7
生地・織物	48	51	3.7	6.1	精密機器・同部品	41	62	3.4	52.3
履物・同部品	72	50	3.7	△30.4	人造繊維	28	32	1.8	14.5
機械・同部品	20	16	1.2	△20.0	プラスチック製品	22	18	1.0	△20.6
合計 (その他含む)	1,132	1,366	100.0	20.7	合計 (その他含む)	1,870	1,846	100.0	△1.3

[出所] 輸出振興庁およびバングラデシュ中央銀行

■新型コロナの影響で多くの駐在員は一時退避

2020年は新型コロナ感染拡大の影響により、3月末から政府機関および企業への休業措置が講じられたことから、4月の輸出総額は前年同月比で82.9%減と落ち込んだ。5月以降は、輸出型の縫製工場の操業が再開し、政府による経済刺激策や規制緩和などにより、7月には0.6%増に回復した。経済活動を活発化させるため、政府は9月1日、従来の行動規制措置を緩和したものの、感染収束の見通しは不透明な状況だ。なお、8月末時点では、日本からの乗り継ぎに必要なタイ、シンガポール、香港を含む10カ国・地域からの国際線の受入停止措置は継続され、日本企業関係者には大きな問題となっている。

進出日系企業の駐在員の多くは、3月末以降、日本への一時退避後に遠隔で事業を継続し、オフィス機能を維持している。また、4月末以降、在宅勤務、分散勤務や政府のガイドラインに沿った感染対策に取り組みながら、徐々に工場やオフィスの稼働再開を進めている。ダッカ日本商工会によると、駐在員の再渡航のタイミング、新型コロナの影響によるオーダーのキャンセルや減少、現地従業員の感染対策などが日系企業の課題となっている。

主要経済指標

	2016/17年度	2017/18年度	2018/19年度
①人口：1億6,555万人 (2018/19年度)			
②面積：14万7,570km ²			
③1人当たりGDP：1,856米ドル (2019年)			
④実質GDP成長率 (%)	7.3	7.9	8.2
⑤消費者物価上昇率 (%)	5.4	5.8	5.5
⑥失業率 (%)	4.2	n.a.	n.a.
⑦貿易収支 (100万米ドル)	△6,472	△18,258	△15,835
⑧経常収支 (100万米ドル)	△1,331	△9,780	△5,102
⑨外貨準備高 (100万米ドル)	32,849 (2017年)	31,453 (2018年)	32,013 (2019年)
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル、期末値)	28,566	28,337	33,512
⑪為替レート (1米ドルにつき、 タカ、期中平均)	80.4 (2017年)	83.5 (2018年)	84.5 (2019年)

〔注〕各年度は7月1日～翌年6月30日、⑥は2016/17年度まで公表、⑦：国際収支ベース (財のみ)
〔出所〕①②④⑥：バングラデシュ統計局、③：世界銀行、⑤⑦⑧⑩：バングラデシュ中央銀行、⑨⑪：IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 アジア大洋州課

ORF@jetro.go.jp